

# グローバル COE 講演会報告書

大学院理学研究科 三木 邦夫、杉山 弘

研究集会名: グローバル COE 講演会

講演者: Professor Dr. Petar M. Mitrasinovic, Indian Institute of Technology, Roorkee, India, and Belgrade Institute of Science and Technology, Serbia

演題: “Modeling of Biomolecules Relevant for Development of Therapeutics against Some Important Pathological Conditions: Correlation with Experiment”

場所: 京都大学大学院理学研究科 セミナーハウス 大セミナー室

日時: 2011年11月28日 16:00-17:30

参加者: 化学専攻 大学院学生、学部生、博士研究員、教員

参加者総数: 約 40 名

講演内容: 近年、既存のインフルエンザ薬に対して抵抗を示す新型インフルエンザの出現が問題となっており、これを解決すべく様々な分子レベルでの研究が行われている。その中でも最近、注目されている研究領域の一つとして、既存の受容体の構造の知見から、計算化学的に最適な分子設計を効率よく探し出す研究がある。今回の Mitrasinovic 教授による講演では、この新しい計算化学がドラッグデザインにおいてもたらす多くの利点を、いくつかの具体例とともに説明をして頂いた。

Mitrasinovic 教授は抗インフルエンザ薬の分子設計のみならず、現在も完治が難しい病である HIV に対しても展開されていた。更には、最近明らかにされた DNA の四重鎖構造に対する結合分子の検討も紹介して頂き、「不治」「未知」の病に対する、計算化学の適用性や応用性の広さに驚かされる講演内容であった。



聴衆者は X 線構造解析や核酸化学に携わる研究者、学生が多かったようで、それぞれの領域の関連する内容を質問するなど、非常に活発な質疑応答が行われ充実した講演会であった。